

2023

クリスマスイブ

聖夜礼拝

～降誕物語とキャロルのささげもの～

2023年12月24日(日)18:00

日本キリスト教団石神井教会

礼拝参与のご案内

- * この礼拝は、クリスマスの出来事を想起するために、照明を落として、燭火のもとで執り行います。出席者の皆さまは、燭火（ロウソク）に代わるものとしてあらかじめ「LED キャンドル」を配置している席にお座りください。礼拝終了後は、そのまま各席に置いてお帰りください。
- * 礼拝中の「ささげもの」は、わたしたちに与えられた恵みに感謝して献金をささげます。礼拝中に集めることはいたしませんので、礼拝前または礼拝後に、礼拝堂入口に置く献金カゴにお献げください。
- * 礼拝で用いられる聖書の言葉、讃美の歌、祈りの言葉、立ち座りの指示等は、すべてこの冊子に印刷してあります。司式者の案内がなくても、お手元でこの冊子を繰りながら、礼拝にお加わりください。
- * 「会衆」または「一同」と指示のある祈りや讃美は、皆さんがお加わりください。「奉仕者」とあるさんびや朗読は、聖壇奉仕者が担当いたします。なお、奉仕者の担当する「さんび」は、讃美歌用とは異なる楽譜を用いる場合があります。
- * 礼拝の終了は、19:20 ごろを予定しています。
- *

この礼拝は YouTube でライブ配信いたします。

公開動画は教会公式ホームページからご覧ください。

《降誕物語とキャロルのささげもの》 順序

- 前 奏 (Org) 「久しく待ちにしによる前奏曲」(松原葉子)
礼拝への招き
はじめの讃美 (会衆) 「ダビデの村里」(『聖公会聖歌』70)
はじめの祈り
讃 美 (会衆/) 「世の成らぬさきに」(『讃美歌 21』245)
聖霊の照らしを求める祈り
聖書朗読 1 《救い主到来の預言》イザヤ書 9:1、5~6
讃 美 (会衆) 「イエスキミ来たりて」(『聖公会聖歌集』56)
聖書朗読 2 《キリストのもたらす平和》イザヤ書 11:1~10
讃 美 (会衆) 「エサイの根より」(『讃美歌』96)
聖書朗読 3 《マリアへの告知》ルカによる福音書 1:26~38
さんび (Sop/Pf) 「夜空にきらめく」(『聖公会聖歌集』67)
聖書朗読 4 《幼子の誕生》ルカによる福音書 2:1~7
さんび (Cl/Pf) 「ああベツレヘムよ」(『讃美歌』115)
聖書朗読 5 《羊飼いへの知らせ》ルカによる福音書 2:8~20
讃 美 (会衆) 「あら野のはてに」(『讃美歌』106)
聖書朗読 6 《学者たちの来訪》マタイによる福音書 2:1~12
さんび (Pf) 「この日ひとと」(『讃美歌第二編』126)
聖書朗読 7 《光の到来》ヨハネによる福音書 1:1~14
讃 美 (会衆) 「降誕のキャロル」(『教会福音讃美歌』82)
説 教 「喜びも悲しみもそのままに」
黙 想 黙想曲 (Vc/Pf) 「やすらかにねむれ」(『聖公会聖歌集』105)

とりなしの祈り

ささげもの 奉献曲 (Pf) 「飼い葉おけの傍らの羊飼い」(F.Liszt)

主の祈り

讃 美 (会衆) 「いそぎ来たれ、主にある民」(『讃美歌 21』259)

祝 福

おわりの讃美 (会衆) 「きよしこの夜」(『讃美歌』109)

退 堂 後奏曲 (Cl/Vc/Pf/Org)

「いそぎ来たれ、主にある民」(J.Nixon 編)

《降誕物語とキャロルのささげもの》

点 鐘

前 奏 「久しく待ちにしによる前奏曲」 (松原葉子)

礼拝への招き

はじめの讚美

会衆は着席して讚美

「ダビデの村里」 むらさと Once in royal David's city

1
2
3
4

4

8

るごぬは、
みまあい
はずいま
はしのも
はきすわ
マもがれ
りのたら
アのをと
みうよと
子ちよも
はににに
イエしい
スためた
きもせも
みうりう。

1 ダビデの村里 うまやのうちに
生まれしみどり子 やすらに眠る
み母はマリア み子はイエスキ

2 天よりこの世に み子は降りぬ
父なる み神の ひとり子なれど
貧しき者の うちにいたもう

3 やさしきまなざしその身に受けて
幼子 み母を 慕い育ちぬ
愛の姿を 世々に示せり

4 幼き日天より 世人とともに
悲しみ 喜び 分かちし み子は
今もわれらと ともにいたもう

はじめの祈り

司式者と一同で交互に唱える

司式者) イエス・キリストは世の光、

一同) 闇も消すことのできない光です。

司式者) 羊飼いたちは、夜通し羊の群れの番をしていましたが、

一同) 主よ、あなたの栄光が周りを照らしました。

司式者) 闇も御前では闇ではなく、

一同) 夜も昼のように輝いています。

司式者) 主の光が闇を追い払い、

一同) あなたの民を、主の栄光が照らしますように。

天の神、あなたは、かつて、マリアのふところに

御子イエスを横たえられました。

そのようにして、愛と平和を

この世界にもたらしてくださいました。

そして、人には生きることの喜びを

お与えくださいました。

あなたは、御子キリストによって、

この地上とあなたのいらっしゃる天を、

ひとつに結んでくださいました。

あなたは、御子によって、

わたしたちの近くにおいでくださいました。

幼子としてでなければあり得なかったほど

近くまで、おいでくださいました。

わたしたちは、あなたと御子と聖霊を

ほめたたえ、讚美いたします。

あなたの近さと、あなたの偉大さをほめたたえ、

讚美いたします。

御子イエス・キリストによって。 アーメン。

讚美

会衆は着席して讚美

「世の成らぬさきに」 CORDE NATUS EX PARENTIS

1. 世の成らぬさきに 既にいて、
 父の愛により 生まれし子は、
 アルファ、またオメガ、
 永久にいます主。栄光、神にあれ！

2. 聖霊によりて 祝福うけし
 マリアはみ子イエス、宿したまえり。
 このみどり子こそ 世の救い主。
 栄光、神にあれ！

3. 遠き昔より 待ち望みたる
 約束の時は 今こそ来たる。 ↗

ちちのあいまに よーりまどれしたみ子 は、
 マリヤのそあるの のくみか ーはににん しゃ、ひさ ー
 地にとあり のの みか ーににん しゃ、ひさ ー
 ひ とあり のの みか ーににん しゃ、ひさ ー

ア ル ファ ま た り オ メ ー ー ー ガ、 と わ に い ま す 主。
 こ の べ ん み の の ひ と 子 と た か ー ー ー そ と、 よ の す く ぬ し。
 さ ば ま び れ と ち か ー ー ー と せ と た え い の け い く ろ み た り
 ほ ま ば れ と ち か ー ー ー と せ と た え い の け い く ろ み た り

えいこう、かみにあれ！ アーメン。

- 1 世の成らぬさきに 既にいて、
 父の愛により 生まれし子は、
 アルファ、またオメガ、
 永久にいます主。栄光、神にあれ！
- 2 聖霊によりて 祝福うけし
 マリアはみ子イエス、宿したまえり。
 このみどり子こそ 世の救い主。
 栄光、神にあれ！
- 3 遠き昔より 待ち望みたる
 約束の時は 今こそ来たる。 ↗
- 4 天よ、鳴りひびけ、み使い歌え。
 地にある国ぐに おそれ、ひれ伏せ。
 賛美の歌声 世界を満たせ。
 栄光、神にあれ！
- 5 み子なるキリスト、父と聖霊
 ひとりのみ神に 感謝ささげよ。
 誉れとちからと 永遠の勝利と
 栄光、神にあれ！ アーメン。

聖霊の照らしを求める祈り 奉仕者の祈りに一同声を合わせる

主なる神、

今、わたしたちは、

クリスマスの物語に耳を傾けようとしています。

聖霊の照らしにより、わたしたちの心を整えて、

聖書の御言葉を聞き入れるのにふさわしい者としてください。

主の御言葉を聴いて、御心を知ることができますように。

主イエス・キリストの御名によって。

アーメン。

聖書朗読 1 《救い主到来の預言》

奉仕者の朗読

イザヤ書 9 章 1 節、5~6 節

闇の中を歩む民は、大いなる光を見

死の陰の地に住む者の上に、光が輝いた。

ひとりのみどりごがわたしたちのために生まれました。

ひとりの男の子がわたしたちに与えられた。

権威が彼の肩にある。

その名は、「驚くべき指導者、力ある神

永遠の父、平和の君」と唱えられる。

ダビデの王座とその王国に権威は増し

平和は絶えることがない。

王国は正義と恵みの業によって

今もそしてとこしえに、立てられ支えられる。

万軍の主の熱意がこれを成し遂げる。

さんび

会衆は着席して讃美

「イエスキミ来たりて」 *Jesus came, the heavens adoring* (HELMSLEY)



1 イエス - き - み - き - た - り - て あ め の や
 2 イエス - き - み - き - た - り - て あ な や め る
 3 イエス - き - み - き - た - り - て つ み の ゆ
 4 イエス - き - み - き - た - り - て え い こ



す - き - を - あ ま - ね - く - あ - た - え - て
 た - み - の - さ さ - ぐ - る - い - の - り - を
 る - し - と - よ ろ - こ - び - あ - た - え - て
 あ - ふ - れ - あ め - つ - ち - す - ぎ - ゆ - き



世 を あ が な - え - り - ハ - - レ ル ヤ ハ - - レ
 き き あ い な - た - ま - わ ん
 み ち び た - た - も - う
 わ れ ら も あ - が - め ん



ル - ヤ ハ - - レ ル - ヤ わ れ - ら の た め に
 あ わ - れ み の ま ち よ
 主 は - 死 に か る ち め
 お わ - り く る ま で

1 イエスキミ来たりて 天のやすきを
 あまねく与えて 世をあがなえり
 ハレルヤ ハレルヤ ハレルヤ
 われらのために

2 イエスキミ来たりて 悩める民の
 ささぐる祈りを 聞き入れたまわん
 ハレルヤ ハレルヤ ハレルヤ
 あわれみの主よ

3 イエスキミ来たりて 罪の赦しと
 喜び与えて 導きたもう
 ハレルヤ ハレルヤ ハレルヤ
 主は死に勝ちぬ

4 イエスキミ来たりて 栄光あふれ
 天地 過ぎゆき われらもあがめん
 ハレルヤ ハレルヤ ハレルヤ
 終わり来るまで

聖書朗読2 《キリストのもたらす平和》 奉仕者の朗読
イザヤ書 11章 1~10節

エッサイの株^{かぶ}からひとつの芽^めが萌^もえいで

その根^ねからひとつの若枝^{わかえだ}が育^{そだ}ち

その上^{うえ}に主^{しゅ}の霊^{れい}がとどまる。

知^ち恵^えと識^し別^{べつ}の霊^{れい}

思^し慮^{りょ}と勇^{ゆう}気^きの霊^{れい}

主^{しゅ}を知^しり、畏^{おそ}れ敬^{うやま}う霊^{れい}。

彼^{かれ}は主^{しゅ}を畏^{おそ}れ敬^{うやま}う霊^{れい}に満^みたされる。

目^めに見^みえるところによ^よって裁^{さば}きを行^{おこな}わず

耳^{みみ}にするところによ^よって弁^{べん}護^ごすることはない。

弱^{よわ}い人^{ひと}のため^{ため}に正^{せい}当^{とう}な裁^{さば}きを行^{おこな}い

この地^ちの貧^{まず}しい人^{ひと}を公^{こう}平^{へい}に弁^{べん}護^ごする。

その口^{くち}の鞭^{むち}をも^もって地^ちを打^うち

唇^{くちびる}の勢^{いきお}いをも^もって逆^{さか}らう者^{もの}を死^しに至^{いた}らせる。

正^{せい}義^ぎをその腰^{こし}の帯^{おび}とし

真^{しん}実^{じつ}をその身^みに帯^おびる。

狼^{おおかみ}は小^こ羊^{ひつじ}と共^{とも}に宿^{やど}り

豹^{ひょう}は子^こ山^や羊^ぎと共^{とも}に伏^ふす。

子^{こう}牛^{うし}は若^{わか}獅^じ子^しと共^{とも}に育^{そだ}ち

小^{ちい}さい子^こ供^{ども}がそれ^{それ}ら^らを導^{みちび}く。

牛^{うし}も熊^{くま}も共^{とも}に草^{くさ}をはみ

その子^こらは共^{とも}に伏^ふし

獅^し子^しも牛^{うし}もひと^{ひと}しく干^ほし草^{くさ}を食^くらう。

乳^ち飲^のみ子^こは毒^{どく}蛇^{へび}の穴^{あな}に戯^{たわぶ}れ

幼^{おさな}子^ごは蝮^{まむし}の巢^すに手^てを入^いれる。

わたしの聖^{せい}なる山^{やま}において

何^{なに}ものも害^{がい}を加^{くわ}えず、滅^{ほろ}ぼすこともない。

水^{みず}が海^{うみ}を覆^{おほ}っているように

だいち しゅ し ちしき み
大地は主を知る知識で満たされる。

その日ひが来くれば

エッセイの根ねはすべての民たみの旗印はたじろしとして立たてられ

国々くにぐにはそれを求もとめて集つどう。

そのとどまるところは栄光えいこうに輝かがやく。

讚 美

会衆は着席して讚美

「エサイの根より」 *Flos de Radice Jesse (Es ist ein Ros entsprungen)*

6
エ サイのね より お しい -で た る く
イ ザヤのつ げし す くい -ぬ し は、 き
た えにと う と き イエ スの -み な の か

12
すしきは なは さきそ -め け り。 わ が主イエス
よきは は より うまれ -ま し ぬ。 主 のち かい
おりは と おく よにあ -ま ね し。 い ざやとも

の う まれた ま い し こ のよ -き ひ よ。
の い まし も な れ る こ のよ -き ひ よ。
に よ ろこび い わ え、 こ のよ -き ひ よ。

1 エサイの根より 生いいでたる
くすしきは なは さきそめけり、
わが主イエスの うまれたまいし
このよき日よ。

2 イザヤの告げし すくいぬしは、
きよき母より うまれましぬ。

主のちかいの 今しも成れる
このよき日よ。

3 たえにと うと き イエスの御名の
かおりは と おく 世にあまねし。
いざやともに よろこびいわえ、
このよき日を。

ルカによる福音書 1 章 26~38 節

六か月目に、天使ガブリエルは、ナザレというガリラヤの町に神から遣わされた。ダビデ家のヨセフという人のいいなずけであるおとめのところに遣わされたのである。そのおとめの名はマリアといった。天使は、彼女のところに来て言った。「おめでとう、恵まれた方。主があなたと共におられる。」マリアはこの言葉に戸惑い、いったいこの挨拶は何のことかと考え込んだ。すると、天使は言った。「マリア、恐れることはない。あなたは神から恵みをいただいた。あなたは身ごもって男の子を産むが、その子をイエスと名付けなさい。その子は偉大な人になり、いと高き方の子と言われる。神である主は、彼に父ダビデの王座をくださる。彼は永遠にヤコブの家を治め、その支配は終わることがない。」マリアは天使に言った。「どうして、そのようなことがありえましょうか。わたしは男の人を知りませんが、天使は答えた。「聖霊があなたに降り、いと高き方の力があなたを包む。だから、生まれる子は聖なる者、神の子と呼ばれる。あなたの親類のエリサベトも、年をとっているが、男の子を身ごもっている。不妊の女と言われていたのに、もう六か月になっている。神にできないことは何一つない。」マリアは言った。「わたしは主のはしためです。お言葉どおり、この身に成りますように。」そこで、天使は去って行った。

「夜空にきらめく」 *Virgin-born, we bow before thee (QUEM PASTORES)*

- 1 夜空にきらめく 星たちの告げる
み言葉をさずかる いとしきマリア
- 2 マリアのその身は 祝福を受けて
幼子を守る 母のまなざし
- 3 世の救い主を もたらすマリアは
主イエスを愛して 主イエスに尽くす
- 4 夜空にきらめく 星たちの告げる
み言葉さずかる いとしきマリア

聖書朗読 4 《幼子の誕生》

奉仕者の朗読

ルカによる福音書 2章 1~7節

そのころ、皇帝アウグストゥスから全領土の住民に、登録をせよとの勅令が出た。これは、キリニウスがシリア州の総督であったときに行われた最初の住民登録である。人々は皆、登録するためにおのおの自分の町へ旅立った。ヨセフもダビデの家に属し、その血筋であったので、ガリラヤの町ナザレから、ユダヤのベツレヘムというダビデの町へ上って行った。身ごもっていた、いなすけのマリアと一緒に登録するためである。ところが、彼らがベツレヘムにいるうちに、マリアは月が満ちて、初めての子を産み、布にくるんで飼い葉桶に寝かせた。宿屋には彼らの泊まる場所がなかったからである。

「ああベツレヘムよ」 *O little town of Bethlehem*

- 1 ああベツレヘムよ などがひとり
^{ほし}星^{にお}のみ匂^{ねむ}いて ふかく眠^{ねむ}る。
^し知らずや、今宵^{こよい} くらき空^{そら}に
 とこよのひかりの 照^てりわたるを。
- 2 ひとみな眠^{ねむ}りて 知らぬまにぞ
^こみ子なるキリスト 生^{うま}れたもう。
 あしたの星^{ほし}よ、 うたいまつれ、
^{かみ}「神^{さか}にはみ栄^ちえ、 地^{へい}に平和^わ」と
- 3 しずかに夜露^{よつゆ}の くだるごとく、
^{たまもの}めぐみの賜物 世^よにのぞみぬ。
^{つみ}罪^よふかき世^よに かかるめぐみ
^{あめ}天^くより来^しべしと たれかは知る。
- 4 ああベツレヘムの きよきみ子^こよ、
^{いま}今^{いま}しもわれらに くだりたまえ。
 ころをきよめ 宮^{みや}となして、
^{いま}今^{いま}よりときわに すまいたまえ。

ルカによる福音書 2 章 8~20 節

その地方で羊飼いたちが野宿をしながら、夜通し羊の群れの番
 をしていた。すると、主の天使が近づき、主の栄光が周りを照らした
 ので、彼らは非常に恐れた。天使は言った。「恐れるな。わたし
 は、民全体に与えられる大きな喜びを告げる。今日ダビデの町で、
 あなたがたのために救い主がお生まれになった。この方こそ主メシ
 アである。あなたがたは、布にくるまって飼う葉桶の中に寝ている
 乳飲み子を見つけるであろう。これがあなたがたへのしるしである。」
 すると、突然、この天使に天の大軍が洩わり、神を賛美して言った。

「いと高きところには栄光、神にあれ、

地には平和、御心に適う人にあれ。」

天使たちが離れて天に去ったとき、羊飼いたちは、「さあ、ベツ
 レヘムへ行こう。主が知らせてくださったその出来事を見ようでは
 ないか」と話し合った。そして急いで行って、マリアとヨセフ、ま
 た飼う葉桶に寝かせてある乳飲み子を探し当てた。その光景を見て、
 羊飼いたちは、この幼子について天使が話してくれたことを人々
 に知らせた。聞いた者は皆、羊飼いたちの話をも不思議に思った。し
 かし、マリアはこれらの出来事をすべて心に納めて、思い巡らして
 いた。羊飼いたちは、見聞きしたことがすべて天使の話したとおりに
 だったので、神をあがめ、賛美しながら帰って行った。

「あら野のはてに」

Les anges don nos campagnes

1 あらののはてに ゆうひはおちて たえなる
 2 ひつじをまもる のべのまきびと あめなる
 3 みうたをききて ひつじかいらは まぶねに
 4 きょうしもみ子は うまれたまいぬ よろずの

6
 しらべ あめよりひびく グロ
 うたを よろこびききぬ
 ふせる み子をおがみぬ
 たみは いさみてうたえ

11
 ----- リファ インエクセルシス デオ グロ -----

16
 ----- リファ インエクセルシス デオ -----

1 あら野のはてに 夕日は落ちて、
 たえなるしらべ 天よりひびく。

(くりかえし)

グロリヤ イン エクセルシス デオ
 グロリヤ イン エクセルシス デオ

2 ひつじをまもる 野べのまきびと、
 あめなるうたを よろこびききぬ。

(くりかえし)

3 みうたをききて ひつじかいらは、
 まぶねにふせる み子をおがみぬ。

(くりかえし)

4 きょうしもみ子は うまれたまいぬ。
 よろずの民よ、いさみてうたえ。

(くりかえし)

マタイによる福音書 2 章 1~12 節

イエスは、ヘロデ王の時代にユダヤのベツレヘムでお生まれになった。そのとき、占星術の学者たちが東の方からエルサレムに来て、言った。「ユダヤ人の王としてお生まれになった方は、どこにおられますか。わたしたちは東方でその方の星を見たので、拝みに来たのです。」これを聞いて、ヘロデ王は不安を抱いた。エルサレムの人々も皆、同様であった。王は民の祭司長たちや律法学者たちを皆集めて、メシアはどこに生まれることになっているのかと問いただした。彼らは言った。「ユダヤのベツレヘムです。預言者がこう書いています。

『ユダの地、ベツレヘムよ、

お前はユダの指導者たちの中で

決していちばん小さいものではない。

お前から指導者が現れ、

わたしの民イスラエルの牧者となるからである。』」

そこで、ヘロデは占星術の学者たちをひそかに呼び寄せ、星の現れた時期を確かめた。そして、「行って、その子のことを詳しく調べ、見つかったら知らせしてくれ。わたしも行つて拝もう」と言ってベツレヘムへ送り出した。彼らが王の言葉を聞いて出かけると、東方で見た星が先立って進み、ついに幼子のいる場所の上に止まった。学者たちはその星を見て喜びにあふれた。家に入ってみると、幼子は母マリアと共におられた。彼らはひれ伏して幼子を拝み、宝の箱を開けて、黄金、乳香、没薬を贈り物として献げた。ところが、「ヘロデのところへ帰るな」と夢でお告げがあったので、別の道を通って自分たちの国へ帰って行った。

「この日ひとと」 PERSONENT HODIE

- 1 この日 ^ひ人となりし ^{みこ}御子を
^{こえ}声もたかく うたいまつらん、よろこびもて。
 (くりかえし)
 イデオ、オ、オ イデオ、オ、オ
 イデオ・グロリヤ・イン・エクセルシス・デオ。
- 2 かみの ^{みこ}御子は ^{みぎ}御座をくだり
^{ひと}人のすがた とりたまえり、へりくだりて。
 (くりかえし)
- 3 知恵に^と富める ^{はかせ}博士たちも
^{みこ}御子のまえに ^{たから}きたりきさぐ、^{はこ}宝の箱。
 (くりかえし)
- 4 ^{ひく}低きものも、^{たか}高きものも
^{てんし}天使たちと ^{こえ}ともにうたえ、^{たか}声も高く。
 (くりかえし)

ヨハネによる福音書 1 章 1~14 節

初めに言があった。言は神と共にあった。言は神であった。この言は、初めに神と共にあった。万物は言によって成った。成ったもので、言によらずに成ったものは何一つなかった。言の内に命があった。命は人間を照らす光であった。光は暗闇の中で輝いている。暗闇は光を理解しなかった。

神から遣わされた一人の人がいた。その名はヨハネである。彼は証しをするために来た。光について証しをするため、また、すべての人が彼によって信じるようになるためである。彼は光ではなく、光について証しをするために来た。その光は、まことの光で、世に来てすべての人を照らすのである。言は世にあった。世は言によって成ったが、世は言を認めなかった。言は、自分の民のところへ来たが、民は受け入れなかった。しかし、言は、自分を受け入れた人、その名を信じる人々には神の子となる資格を与えた。この人々は、血によってではなく、肉の欲によってではなく、人の欲によってでもなく、神によって生まれたのである。

言は肉となって、わたしたちの間に宿られた。わたしたちはその栄光を見た。それは父の独り子としての栄光であって、恵みと真理とに満ちていた。

「降誕のキャロル」 *Nativity Carol (John Rutter)*



1 むかしそまつなこやにうまれて
2 やさしくははにいだかれるみこ
3 ひがしのはかせひつじかいらも
4 あいなるみ子ははずしくうまれ

7 われらにあいをしめさいれたみ子だれも
みつかいそらでうたいたたえる
こころみたさでれみ子をあがめる
われらといまもともにおられる

14 しらぬよのかたすみわれらをすくうた

20 めキリストイエスは このひうまれた

1 昔 粗末な 小屋に生まれて
われらに愛を 示された御子

(くりかえし)

誰も知らぬ 世のかたすみ
われらを救うため
キリスト・イエスは
この日 生まれた

2 やさしく母に 抱かれる御子
御使い空で 歌いたたえる

(くりかえし)

3 東の博士 羊飼いらも
心満たされ 御子をあがめる

(くりかえし)

4 愛なる御子は 貧しく生まれ
われらと今も ともにおられる

(くりかえし)

説教 「喜びも悲しみもそのままに」

黙想 黙想曲 「やすらかにねむれ」

Lully, lully, thou little tiny child (COVENTRY CAROL)

やすらかにねむれ 愛しの子よ

- 1 罪なきおさなご 思い起こし
この日に歌わん 子守唄を
- 2 ヘロデの剣は 襲いかかり
この日におさなご みな殺されん
- 3 喜びの歌も いま消え果て
悲しみは満ちる 母の胸に

やすらかにねむれ 愛しの子よ

とりなしの祈り

司式者と一同で交互に唱え、とりなし祈る

司式者) ^{とも}共に ^{いの}祈りましょう。

一 同) ^{しゅ}主よ、わたしたちは ^{いの}祈ります。

司式者) ^{そら}ベツレヘムの ^{あか}空を ^て明るく ^あ照らした ^{あい}あなたの ^{おく}愛の ^{もの}贈り物が、^{とき}時の ^お終わりの ^せまで ^{かい}この ^{いた}世界の ^て至るところを ^{つづ}照らし ^{つづ}続けますように。

一 同) ^{しゅ}主よ、わたしたちは ^{いの}祈ります。

司式者) ^まこの ^{のぞ}クリスマス ^{ひとびと}を ^{ねが}待ち ^{ねが}望んだ ^{ひとびと}人々の ^{ねが}願いが ^{しつぼう}かなえられます ^{しつぼう}ように。 ^{しつぼう}その ^{しつぼう}人々が ^{しつぼう}失望 ^{しつぼう}することが ^{しつぼう}ありません ^{しつぼう}ように。

一 同) ^{しゅ}主よ、わたしたちは ^{いの}祈ります。

司式者) ^{こどく}この ^{なか}クリスマス ^{むか}を ^{ひとびと}孤独 ^{へいあん}の中で ^み迎える ^み人々が、 ^み平安 ^みを見 ^みいだ ^みす ^みことができ ^みます ^みように。 ^み孤独 ^みの ^み苦し ^みみを ^み取り ^み去 ^みって ^みくださ ^みいます ^みように。

一 同) ^{しゅ}主よ、わたしたちは ^{いの}祈ります。

司式者) ^{ふか}深い ^{かな}悲 ^{よろこ}しみの ^しために、 ^しベツレヘム ^しからの ^し喜び ^しの ^し知らせ ^しを ^し受け ^し取る ^しこと ^しの ^しでき ^しない ^し人 ^し々 ^しを ^し助け ^して ^しくださ ^しい。 ^しその ^し心 ^しに ^しな ^しぐ ^しさ ^しを ^しお ^し与 ^しえ ^しくださ ^しい。

一 同) ^{しゅ}主よ、わたしたちは ^{いの}祈ります。

司式者) ^{てんし}あなたの ^つ天使 ^{へいわ}たちが ^{ころ}告 ^{ねが}げた ^{もと}平和 ^{ひとびと}を ^{ひとびと}心 ^{ひとびと}から ^{ひとびと}願 ^{ひとびと}い ^{ひとびと}求 ^{ひとびと}める ^{ひとびと}人 ^{ひとびと}々 ^{ひとびと}の ^{ひとびと}た ^{ひとびと}めに ^{ひとびと}祈 ^{ひとびと}り ^{ひとびと}ま ^{ひとびと}す。 ^{ひとびと}あ ^{ひとびと}なた ^{ひとびと}の ^{ひとびと}約 ^{ひとびと}束 ^{ひとびと}を ^{ひとびと}真 ^{ひとびと}実 ^{ひとびと}と ^{ひとびと}して ^{ひとびと}くださ ^{ひとびと}い。 ^{ひとびと}そ ^{ひとびと}の ^{ひとびと}人 ^{ひとびと}々 ^{ひとびと}の ^{ひとびと}た ^{ひとびと}だ ^{ひとびと}中 ^{ひとびと}で、 ^{ひとびと}あ ^{ひとびと}なた ^{ひとびと}の ^{ひとびと}光 ^{ひとびと}が、 ^{ひとびと}闇 ^{ひとびと}の ^{ひとびと}力 ^{ひとびと}に ^{ひとびと}打 ^{ひとびと}ち ^{ひとびと}勝 ^{ひとびと}ち ^{ひとびと}ま ^{ひとびと}す ^{ひとびと}よ ^{ひとびと}う ^{ひとびと}に。

一 同) ^{しゅ}主よ、わたしたちは ^{いの}祈ります。

司式者)この世界の中で希望を見失っている人々が、あなたの希望を見いだすことができますように。この希望をひとつにつ
ないでいくことができますように。

一 同) 主よ、わたしたちは祈ります。

司式者)あなたからの御言葉を聞いたわたしたちが、どんなときにもあなたが共にいてくださることを忘れることはありませんように。

一 同) 主よ、わたしたちは祈ります。

司式者)飼い葉桶の幼子、御子イエス・キリストを通して、あなたがわたしたちに与えてくださったものを、わたしたちの家庭に、そして、わたしたちが出会うすべての人々に、もたらす者とならせてください。

一 同) 主よ、わたしたちは祈ります。
幼子イエス・キリストの御名によって。アーメン

ささげもの 奉献曲「飼い葉桶の傍らの羊飼い」

Die Hirten an der Krippe (F. Liszt, Weihnachtsbaum)

主の祈り

一同で唱和

てん
天にましますわれちちの父よ、ねがわくは、
な
み名をあげさせたまえ。

くに きた
み国を来させたまえ。

てん
みこころの天になるごとく、ち
地にもなさせたまえ。

われ にちよう かに きよう あた
我らの日用の糧を、今日も与えたまえ。

われ つみ もの われ
我らに罪をおかす者を、我らがゆるすごとく、
われ つみ
我らの罪をもゆるしたまえ。

われ
我らをこころみにあわせず、あく すく いた
悪より救い出したまえ。

くに さか かき
国とちからと栄えとは限りなくなんじのものなればなり。

アーメン。

「いそぎ来たれ、主にある民」

ADEST FIDELES, LAETI, TRIUMPHANTES

いそぎ来たれ、主にある民、み子の生まれし バツレム。うたえ、祝え、天使らと共に。
 6 まれしベツレヘム。うたえ、いわれ、え、て
 リアをははととして、うたまれましし、み
 11 たちとここえあわせ、「みさかえあれ、い
 りにしこのよき日。むかえまつれ、ひ
 15 んしらととも。きたりておがめ、き
 どりこ、主イエスよ。
 とたかきかみに」。
 となる主イエスを。
 たりておがめ、きたりておがめ、いざ、共に。

1 いそぎ来たれ、主にある民、
 み子の生まれし バツレム。
 うたえ、祝え、天使らと共に。

(くりかえし)

来たりて拝め、来たりて拝め、
 来たりて拝め、いざ、共に。

2 光の主よ、神の主よ、
 おとめマリアを 母として
 生まれまししみどり子、主イエスよ。

3 今われらも ともに歌わん、
 み使いたちと 声あわせ、
 「み栄えあれ、いと高き神に」

4 永遠なる 神のことば
 肉となりにし この良き日。
 迎えまつれ、人なる主イエスを。

祝 福

会衆は牧師が祝福の言葉を告げるのを聞く

終わりの讚美

一同は着席して讚美

「きよしこのよる」, *Stille Nacht, heilige Nacht!*

きーよし このよる ほしは ひかり、 すくいーの
きーよし このよる みつけ うけし、 まきびーと
きーよし このよる みこの えみに、 めぐみーの

6
みーこは まぶねーの なーかに ねむりーた もうー、
たーちは みこーのみ まーえに ぬかずーき ぬー、
みーよの あしたーの ひーかり かがやーけ りー、

11
いーと やーす くー。
かーし こーみ てー。
ほーが らーか にー。

1 きよしこのよる ^{ほし}星はひかり
すくいの ^こみ子は ^{なか}まぶねの中に
ねむりたもう、いとやすく。

2 きよしこのよる ^つみ告げうけし
まきびとたちは ^こみ ^{みまえ}子の御前に
ぬかずきぬ、かしくみて。

3 きよしこのよる ^こみ ^え子の笑みに、
めぐみの ^よみ代の あしたのひかり
かがやけり、ほがらかに。

退 堂

「いそぎ来たれ、主にある民」

ADESTE FIDELES (arr. June Nixon)

- *退堂曲の演奏が始まりましたら、順次退席して下さってかまいません。
- *お帰りの際、お手元の LED キャンドルはそのまま各席にお残してください。

2023 クリスマスイブ聖夜礼拝
聖壇奉仕者

聖書朗読

讃美歌朗読

音楽奉仕 重松万里子 (オルガン・ピアノ)

森直子 (オルガン・ピアノ)

鈴木るり (ソプラノ)

速水謙 (クラリネット)

前島正幸 (チェロ)

司式 村上実基

*この他、多くの奉仕者と会衆として出席された方々によって、今夜の礼拝が整えられました。皆さまに感謝するとともに、わたしたち皆をクリスマスの祝いへとお集めくださった御子キリストと御父なる神に感謝いたします。(牧師)

A monochromatic blue-toned illustration of a nativity scene. In the center, the Virgin Mary is kneeling on the left, and Joseph is kneeling on the right, holding a staff. Between them is a manger containing the infant Jesus. The background features a dark night sky with a prominent eight-pointed star and several palm trees. The entire scene is framed by a wavy, layered border.

2023
CHRISTMAS

よろこびも
かなしみも
そのまま